

2020年 6～8月

北海道地方

夏の天候

2020年 9月 1日
札幌管区气象台 気象防災部
地球環境・海洋課

今夏(6～8月)の概況

『高温・並雨・並照』

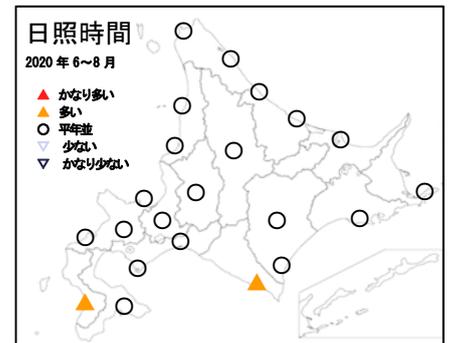
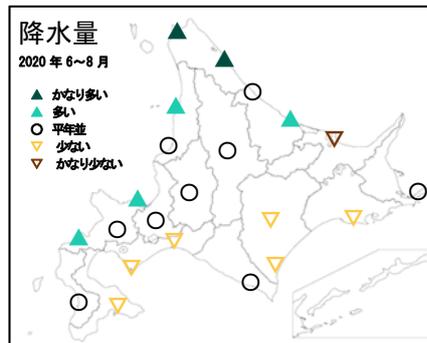
— 6月下旬は記録的な寡照。7月は少雨。8月の宗谷地方は記録的な大雨の日も。 —

6月は、下旬を中心にオホーツク海高気圧からの冷たく湿った気流の影響や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、オホーツク海側や日本海側では記録的な日照不足となった。

7月は、梅雨前線の北側で高気圧に覆われやすかったため、月間日照時間も多く、月降水量は少なかった。

8月は、上旬は前線や低気圧の影響で大雨となった日があったが、中旬と下旬は、太平洋高気圧の張り出しの中で晴れた日が多く、猛暑日となった日もあり、気温が平年より高かった。また、太平洋側では、湿った気流が入りにくかったため、7月に続き少雨となった。宗谷地方では、8月7日は台風第4号から変わった低気圧や前線の影響で記録的な大雨となり、浸水害や河川の氾濫、土砂災害が発生した。

階級分布図



季節の気候表

6～8月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.2	高	98	並	100	並
日本海側	+0.9	高	110	多	101	並
オホーツク海側	+1.3	高	111	並	94	並
太平洋側	+1.4	高	77	少	101	並

- 注) ・気候表の数値は、地域内の气象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。
 ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981～2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

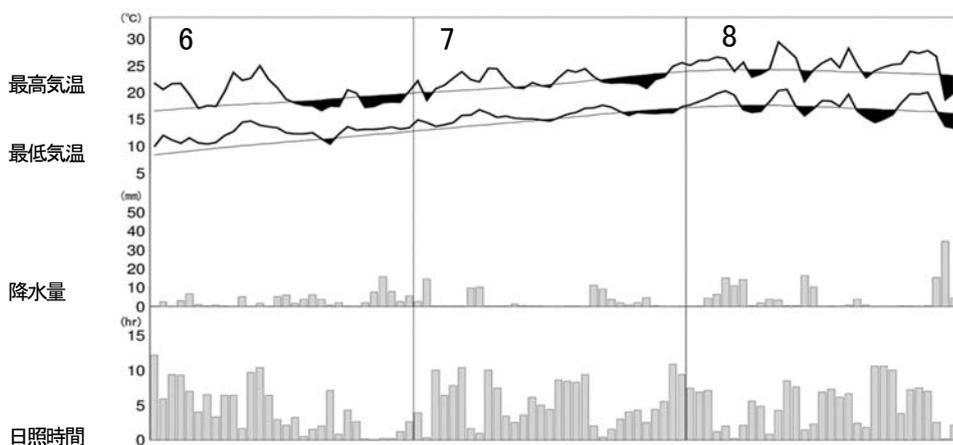
月別の気候表

6月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.8	高	130	多	81	少
日本海側	+1.4	高	139	多	71	少
オホーツク海側	+2.0	高	143	多	67	か少
太平洋側	+2.2	か高	112	並	100	並

7月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.8	並	64	少	116	多
日本海側	+0.7	並	67	少	135	か多
オホーツク海側	+0.9	並	78	並	117	多
太平洋側	+0.8	高	54	少	94	並

8月	気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.9	並	107	並	104	並
日本海側	+0.7	並	130	多	101	並
オホーツク海側	+0.9	高	123	多	101	並
太平洋側	+1.3	高	71	少	110	並

気象経過図



2020年夏(6~8月)の日々の気象経過(北海道地方)

【気温】

暖かい空気に覆われやすかったため、気温が平年より高かったが、6月下旬と7月下旬は、オホーツク海高気圧からの冷たい気流の影響を受けて、気温が平年より低くなった日もあった。夏の気温は、太平洋側で平年よりかなり高く、北海道平均の平年差は+1.2°Cと2年連続で暑夏となった。

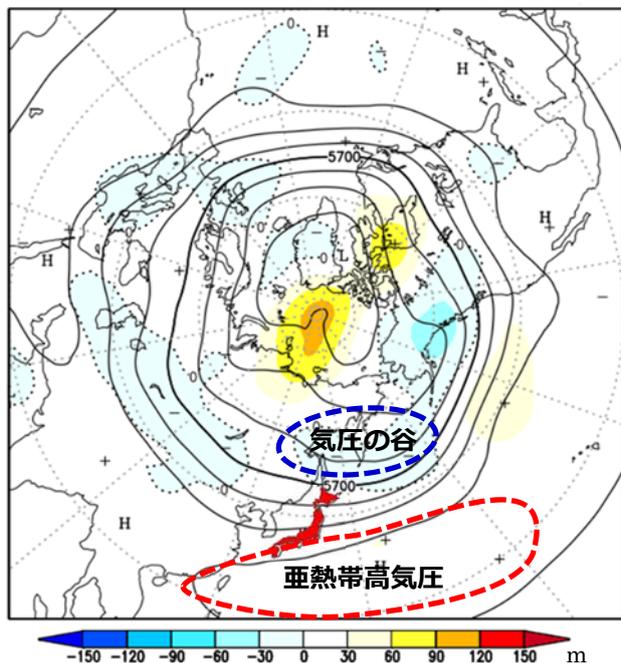
【降水量】

6月は、下旬を中心に雨の降った日が多かった。7月は、高気圧に覆われて晴れた日が多く、雨の日が少なかった。特に7月中旬の降水量は、日本海側で1961年の統計開始以来、最も少なかった。8月上旬と下旬は、またまった雨の降った日もあった。夏の降水量の平年比は、98%で平年並となった。

【日照時間】

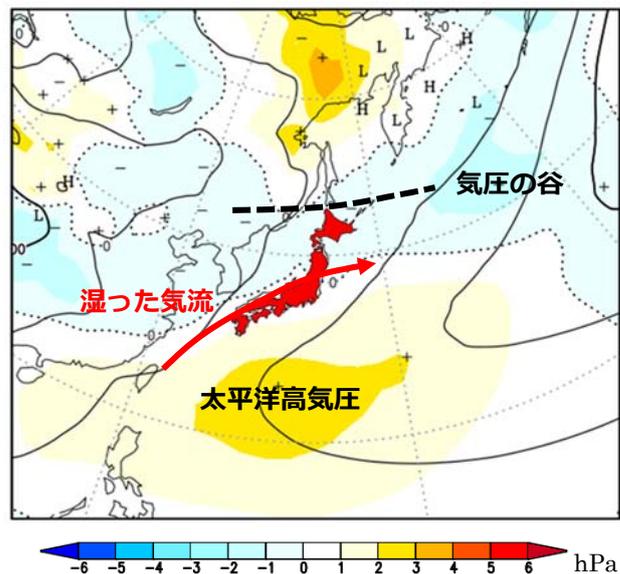
6月上旬と7月から8月にかけては、高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かった。6月中旬から下旬は、低気圧や湿った気流の影響で日照時間が少なく、特に6月下旬は、1961年の統計開始以来、最も少なかった。夏の日照時間は、平年比100%で平年並となった。

夏の大气の流れと地上天気図の特徴



北半球の月平均 500hPa 高度と年平均偏差
(平年値は 1981~2010 年の平均値)

実線は 500hPa 高度 (m)、点線は年平均偏差 (m) を示す。年平均偏差が暖 (寒) 色の領域は平年より高度が高 (低) く、一般に暖 (寒) 気に覆われやすい。上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている状態は偏西風が蛇行していることを示し、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強いことを示す。



日本付近の月平均海面気圧と年平均偏差
(平年値は 1981~2010 年の平均値)

実線は等圧線 (hPa)、点線は年平均偏差 (hPa) を示す。年平均偏差の暖 (寒) 色は、平年より気圧が高 (低) い領域を示す。寒色の領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

500hPa (上空約 5500m) 天気図

本州の南海上では高度が高く、亜熱帯高気圧 (赤点線) が強かった。北海道の北側は高度が低く、気圧の谷 (青点線) となりやすかった。このため、南から暖かい空気が入りやすかった。

地上天気図

日本の南では、太平洋高気圧が強かったため、西日本から東日本では太平洋高気圧の縁辺からの湿った気流 (赤矢印) が入りやすかった。北海道の日本海側やオホーツク海側では、沿海州から千島の東は気圧の谷 (黒点線) となり、気圧の谷や湿った気流の影響を受ける時期があった。北海道太平洋側では、太平洋高気圧と北海道の北側の気圧の谷の間に入り、湿った気流の影響を受けにくかった。

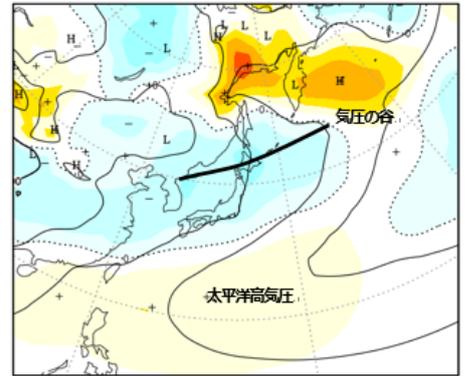
月毎の気象

(1) 6月『高温・多雨・寡照』

— 月の前半は顕著な高温、後半は顕著な寡照 —

気象経過：この期間の天気は、上旬から中旬の前半にかけては、高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かったが、低気圧や気圧の谷の影響により雨の降った日もあった。中旬の後半から下旬にかけては、低気圧や湿った気流の影響により曇りや雨の日が多く、日照時間の少ない状態が続いた。

地上天気図：沿海州から北海道の東にかけて気圧が低くなっており、北海道付近は低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかった。また、北の高気圧からの湿った気流、低気圧や気圧の谷に向かって南から暖かく湿った空気が入りやすかった。



6月の地上天気図

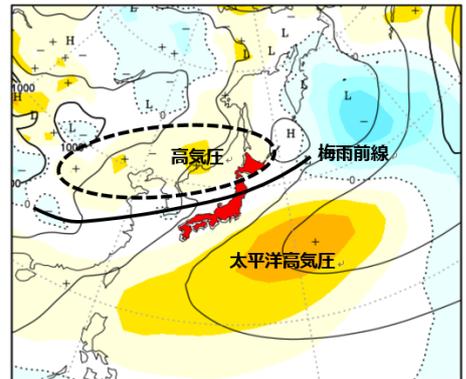
図の見方は夏の地上天気図に同じ

(2) 7月『並温・少雨・多照』

— 高気圧に覆われやすく多照、中旬は記録的少雨 —

気象経過：この期間の天気は、上旬は高気圧の張り出しや気圧の尾根の中となって広い範囲で晴れた日が多かったが、低気圧や気圧の谷の影響で雨の降った日もあった。中旬は高気圧の張り出しの中となって日本海側やオホーツク海側を中心に晴れた日が多かった。下旬は気圧の谷やオホーツク海から湿った気流の影響でオホーツク海側と太平洋側では曇りの日が多く、雨の降った日もあったが、日本海側では晴れた日も多かった。

地上天気図：日本の南では太平洋高気圧が強い一方、華中から日本の東にかけて帯状に気圧が低く、梅雨前線が西日本から東日本にかけて位置しやすかった。北海道付近は、前線の北側で高気圧に覆われやすく、湿った気流の影響を受けにくかった。



7月の地上天気図

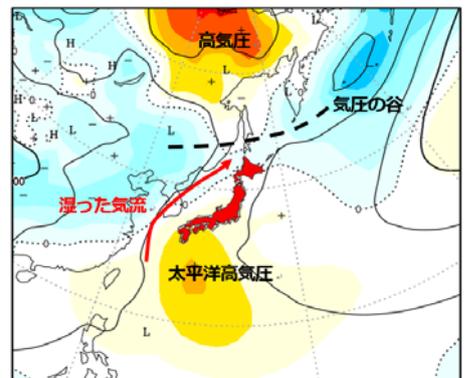
図の見方は夏の地上天気図に同じ

(3) 8月『並温・並雨・並照』

— 太平洋側は少雨、日本海側とオホーツク海側は多雨。7日は宗谷地方で記録的大雨。 —

気象経過：この期間の天気は、上旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が多かった。特に7日は台風第4号から変わった低気圧の影響により、宗谷地方で記録的な大雨となった所があった。中旬は太平洋側を中心に、下旬は日本海側とオホーツク海側を中心に晴れた日が多く、11日と27～28日は猛暑日となった所もあったが、下旬の終わりは北から寒気が流れ込んだ影響で、気温が平年よりかなり低い日もあった。

地上天気図：日本の南では、太平洋高気圧が強い一方、中国東北区から千島の東にかけて帯状に気圧が低かった。北海道の日本海側やオホーツク海側では、太平洋高気圧からの湿った気流 (赤矢印) や気圧の谷の影響を受けやすかったが、太平洋側では湿った気流の影響を受けにくかった。



8月の地上天気図

図の見方は夏の地上天気図に同じ

地点別気候表 (6~8月)

官署名	気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
稚内	17.1	+0.8	(+)	498.5	192	(++)	441.3	96	(0)
北見枝幸	16.9	+1.1	(+)	472.0	153	(++)	382.1	94	(0)
羽幌	19.1	+0.7	(+)	358.0	117	(+)	528.0	99	(0)
雄武	16.9	+1.3	(+)	319.0	108	(0)	399.2	94	(0)
留萌	19.2	+0.8	(+)	243.5	90	(0)	534.4	101	(0)
旭川	20.3	+1.0	(+)	270.0	88	(0)	496.0	100	(0)
網走	18.0	+1.4	(+)	150.5	62	(--)	483.9	94	(0)
小樽	20.1	+1.0	(+)	281.5	116	(+)	527.3	101	(0)
札幌	20.9	+1.1	(+)	232.0	92	(0)	531.9	102	(0)
岩見沢	20.0	+1.0	(+)	237.0	77	(0)	491.9	99	(0)
帯広	19.3	+1.6	(+)	211.0	66	(-)	401.6	101	(0)
釧路	16.7	+1.7	(++)	280.5	77	(-)	350.5	96	(0)
根室	15.5	+1.5	(+)	283.5	85	(0)	388.3	103	(0)
寿都	19.4	+1.1	(+)	323.0	121	(+)	501.6	100	(0)
室蘭	18.7	+1.2	(+)	377.5	81	(-)	455.1	106	(0)
苫小牧	18.5	+1.3	(+)	312.0	67	(-)	347.7	102	(0)
浦河	18.0	+1.3	(+)	366.0	93	(0)	427.0	109	(+)
江差	20.5	+0.9	(+)	373.5	103	(0)	522.0	109	(+)
函館	20.4	+1.3	(+)	267.0	75	(-)	449.8	98	(0)
倶知安	19.2	+0.8	(+)	286.5	99	(0)	479.7	100	(0)
紋別	17.5	+1.3	(+)	335.0	121	(+)	437.1	95	(0)
広尾	17.0	+1.5	(+)	377.0	69	(-)	337.0	96	(0)

注) ・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

・「」付きの値は欠測を含む。「」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

今夏に観測された統計開始以来3位までの記録

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
6月	月平均気温(高い)	第1位	釧路	14.1℃	+2.4℃	14.1(1991)	1910
		第2位	苫小牧	15.8℃	+2.2℃	15.6(1991)	1942
			室蘭	16.3℃	+2.3℃	16.4(1946)	1923
	第3位	浦河	15.3℃	+2.2℃	15.6(2007)	1927	
		函館	17.8℃	+2.0℃	18.2(2007)	1873	
	第3位	根室	217.0 mm	239 %	263.3(1964)	1880	
7月	月降水量(少ない)	第3位	留萌	20.0 mm	21 %	17.0(1974)	1943
	月間日照時間(多い)	第1位	留萌	265.5 h	157 %	258.1(1993)	1943
		第3位	羽幌	272.2 h	159 %	274.4(1993)	1921
8月	月降水量(多い)	第1位	稚内	332.0 mm	286 %	275.5(2014)	1938
6-8月	3か月間降水量(多い)	第3位	稚内	498.5 mm	192 %	574.1(1955)	1938

夏日、真夏日、晴れ、降水、不照、霧の各日数

各月および夏の3か月間の夏日、真夏日の日数

地点名	夏日日数								真夏日日数							
	6月		7月		8月		夏		6月		7月		8月		夏	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差
稚内	0	0.0	0	-1.5	2	-3.8	2	-5.3	0	0.0	0	0.0	0	-0.1	0	-0.1
北見枝幸	3	+0.7	8	+3.3	12	+2.6	23	+6.6	0	-0.1	0	-1.0	0	-1.5	0	-2.5
羽幌	2	+0.5	6	-0.2	12	-0.9	20	-0.6	0	0.0	0	-0.5	0	-1.3	0	-1.8
雄武	3	+0.4	5	+0.3	17	+8.5	25	+9.2	0	-0.2	0	-0.9	3	+1.0	3	-0.2
留萌	2	+0.4	9	+2.3	16	+3.1	27	+5.7	0	0.0	0	-0.7	2	+0.6	2	-0.1
旭川	8	-3.1	26	+6.8	25	+4.1	59	+7.8	0	-0.5	4	+0.6	12	+6.3	16	+6.4
網走	5	+2.4	4	-2.6	17	+5.9	26	+5.7	0	-0.2	0	-1.1	3	+0.7	3	-0.5
小樽	6	+3.0	15	+4.7	22	+4.6	43	+12.3	0	-0.1	0	-1.6	7	+3.9	7	+2.3
札幌	11	+4.4	22	+7.2	25	+5.0	58	+16.5	1	+0.7	0	-2.4	8	+3.0	9	+1.3
岩見沢	6	-0.2	18	+3.5	25	+5.2	49	+8.5	0	-0.3	2	+0.2	9	+4.9	11	+4.8
帯広	12	+4.7	12	-0.1	24	+7.8	48	+12.4	2	+1.0	2	-1.4	14	+8.6	18	+8.2
釧路	0	-0.3	0	-1.1	10	+6.7	10	+5.4	0	0.0	0	0.0	1	+0.9	1	+0.9
根室	1	+0.6	0	-2.0	7	+2.7	8	+1.4	0	0.0	0	-0.1	2	+1.6	2	+1.5
寿都	2	+0.6	7	+0.9	19	+5.4	28	+6.9	0	0.0	0	-0.4	3	+2.0	3	+1.6
室蘭	2	+1.0	2	-3.1	15	+5.0	19	+2.9	0	0.0	0	0.0	1	+0.6	1	+0.6
苫小牧	2	+1.2	3	+0.6	15	+7.0	20	+8.8	0	0.0	0	0.0	2	+1.5	2	+1.5
浦河	0	0.0	0	-1.7	11	+4.4	11	+2.6	0	0.0	0	0.0	1	+0.9	1	+0.9
江差	3	+1.8	10	+2.1	26	+7.1	39	+10.9	0	0.0	0	-0.5	2	+0.5	2	+0.1
函館	5	+2.7	10	-0.7	26	+6.6	41	+8.7	0	0.0	0	-0.6	4	+1.2	4	+0.7
倶知安	8	+3.6	17	+5.5	23	+5.6	48	+14.7	0	-0.1	0	-0.9	4	+1.4	4	+0.5
紋別	4	+2.1	3	-2.1	17	+7.2	24	+7.3	0	-0.2	0	-1.1	4	+2.2	4	+0.9
広尾	2	-0.2	1	-3.4	13	+6.1	16	+2.5	0	-0.3	0	-1.1	7	+5.3	7	+3.9

注) 夏日日数は日最高気温が25℃以上の日数を、真夏日日数は30℃以上の日数を示す。

各月の晴れ日数、降水日数

地点名	晴れ日数						降水日数					
	6月		7月		8月		6月		7月		8月	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差
稚内	8	-5.0	16	+4.5	11	-1.6	14	+6.6	6	-1.9	14	+5.4
北見枝幸	7	-4.2	11	+1.2	11	-0.4	13	+5.0	7	-2.3	11	+1.0
羽幌	10	-5.1	24	+9.9	12	-3.3	12	+3.8	4	-5.3	15	+5.8
雄武	6	-5.5	12	+1.8	11	-1.2	15	+6.8	6	-3.8	10	+0.3
留萌	8	-6.4	23	+9.4	12	-3.3	12	+4.4	4	-4.6	10	+0.8
旭川	8	-7.4	19	+5.9	15	+1.6	14	+5.9	6	-4.3	11	+1.4
網走	10	-3.6	14	+0.8	13	-2.0	11	+2.3	8	-1.9	7	-2.3
小樽	10	-4.6	20	+7.0	18	+2.7	10	+3.1	5	-3.4	10	+1.1
札幌	11	-4.1	17	+4.0	17	+1.6	10	+3.5	5	-3.0	10	+1.5
岩見沢	10	-4.7	19	+6.8	16	+0.9	11	+3.0	7	-2.4	13	+4.0
帯広	10	-3.0	9	-0.7	17	+4.9	10	+2.3	7	-2.6	12	+2.6
釧路	10	-0.2	5	-3.1	13	+2.1	14	+5.9	6	-4.2	9	-0.5
根室	12	+1.0	6	-3.0	13	+2.0	10	+1.9	5	-4.4	6	-2.9
寿都	10	-4.3	16	+3.7	17	+2.9	11	+3.3	6	-1.7	10	+0.9
室蘭	16	+3.5	13	+2.4	13	+0.5	14	+5.4	14	+2.9	10	-1.0
苫小牧	13	+2.9	8	+0.6	9	-1.3	12	+3.5	10	-1.2	15	+3.9
浦河	15	+3.5	7	-1.2	16	+4.0	14	+5.4	12	+1.8	10	+0.3
江差	14	+0.9	15	+4.1	15	+0.4	8	+0.1	7	-2.5	10	+1.0
函館	14	-0.2	9	-1.6	14	+0.9	8	+0.7	7	-2.2	12	+3.3
倶知安	8	-6.8	17	+5.2	15	+1.9	12	+4.8	7	-1.6	13	+3.9
紋別	7	-5.0	13	+1.1	14	+0.1	16	+7.2	9	-1.0	10	+0.1
広尾	11	+0.6	6	-2.1	12	+1.5	17	+8.7	9	-1.6	11	+0.2

注) 晴れ日数は日照率40%以上の日数を、降水日数は日降水量が1mm以上の日数を示す。

各月の不照日数、霧日数

地点名	不照日数						霧日数					
	6月		7月		8月		6月		7月		8月	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	*	本年	*	本年	*
稚内	7	+0.8	5	-2.1	6	0.0	0	*	3	*	2	*
北見枝幸	13	+4.7	9	-0.4	6	-1.2	4	*	7	*	2	*
羽幌	6	+1.3	1	-4.5	6	+1.9	2	*	3	*	4	*
雄武	11	+3.3	10	+1.3	5	-1.8	5	*	8	*	2	*
留萌	4	-0.3	1	-4.2	4	+0.3	0	*	2	*	1	*
旭川	8	+4.7	2	-2.1	4	-0.1	0	*	0	*	2	*
網走	5	-0.6	7	+1.0	3	-2.0	3	*	6	*	3	*
小樽	7	+3.2	2	-2.2	3	-0.7	0	*	0	*	0	*
札幌	5	+1.5	2	-2.0	2	-1.7	1		0		0	
岩見沢	6	+1.9	3	-1.8	2	-2.5	0	*	2	*	3	*
帯広	8	+0.1	6	-3.4	4	-4.5	3	*	6	*	2	*
釧路	9	+0.2	8	-1.8	4	-5.0	12	*	13	*	13	*
根室	7	-1.1	7	-2.6	4	-3.8	19	*	18	*	14	*
寿都	6	+1.4	3	-1.3	1	-3.5	0	*	0	*	0	*
室蘭	6	-1.3	10	+1.3	4	-3.9	2	*	6	*	6	*
苫小牧	8	-1.4	10	-1.8	6	-3.7	5	*	9	*	9	*
浦河	5	-1.3	10	+1.7	4	-2.5	14	*	12	*	11	*
江差	3	-2.0	4	-2.6	7	+2.9	1	*	0	*	2	*
函館	2	-3.8	5	-2.0	5	-1.0	0	*	1	*	1	*
倶知安	4	0.0	2	-2.5	4	-0.3	0	*	1	*	1	*
紋別	8	+1.2	10	+2.4	5	-1.2	2	*	6	*	4	*
広尾	11	+1.1	11	+0.4	5	-4.6	14	*	20	*	15	*

注) ・不照日数とは、日照時間0.1時間未満の日数である。

・霧日数において「*」マークは、視程計（現象半別付）による大気現象観測から統計したことを示す。

今夏に発表した天候に関わる気象情報※

6月29日 『日照不足に関する北海道地方気象情報 第1号』

※ ここでの「気象情報」は、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想されるときなどに発表する情報を指します。

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先

札幌管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課
TEL (011) 611-6174